



学びの
フィールド
を広げよう!!

【平成28年度】



公立大学法人

山口県立大学

Yamaguchi Prefectural University

目次

はじめに 3ページ

参加方法 / 活動の記録方法 4ページ

活動項目と内容

 地域マインド育成プログラム 5～9ページ

 国際コミュニケーション力育成プログラム 10～11ページ



地域マインド育成プログラム
「YPU ドリームアドベンチャープロジェクト」



地域マインド育成プログラム「地域共生演習（もりさま祭り）」



国際コミュニケーション力育成プログラム「Y&I」



国際コミュニケーション力育成プログラム「Y&I」

○はじめに

山口県立大学には、世代や言語・文化も異なる方たちとの交流をとおして、地域の魅力発見や課題解決、異文化コミュニケーション力を身につけることができる授業やボランティアなどの多数のプログラムを用意しています。

プログラムの内容は主に以下の2種類で構成されています。

①【地域マインド育成プログラム】

地域社会の一員として、地域に関わり、地域が抱える課題の解決に積極的に関わっていかこうとする態度を培うためのプログラムです。

②【国際コミュニケーション力育成プログラム】

地球社会の一員として、国境を越えて言語や文化の異なる人々を理解しコミュニケーションを図ろうとする態度を培うためのプログラムです。

本学に入学したみなさんの4年間の学びをさらに充実させ、社会で通用する能力を身につけることができる本学ならではのプログラムです。積極的に参加し、自らの学びのフィールドを広げていってください。



○参加方法

○「正課」プログラム

履修登録を行い、科目の履修を行ってください。履修登録の方法は、「履修の手引」を参考にしてください。

○「正課外」プログラム

「活動項目と内容」に記載している「担当教職員」の問い合わせ先に確認をし、参加に必要な手続きを行ってください。

※参加する際の注意事項等については、担当教職員の指示に従ってください。

※開催時期及びプログラムの詳細等については、変更となる場合があります。

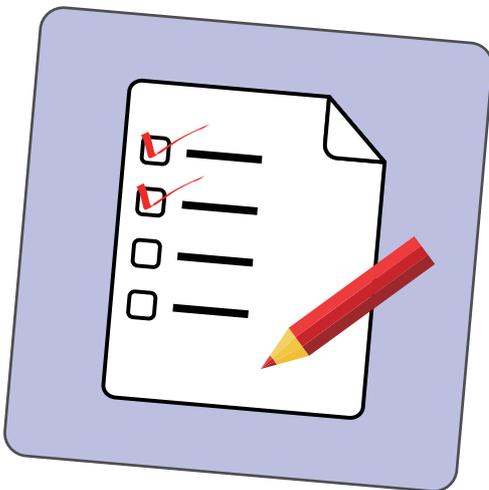


○活動の記録方法

4年間の学びを就職活動や、自己PR等に活用するためにも、活動の記録は必ず残してください。

活動記録はWEBシステムで行ってください。(※WEB入力システムの入力方法については、<https://progress.ypu.jp/file/manabi.pdf>をご確認ください。)

記録はなるべく活動が終了したらその都度入力を行ってください。



平成28年度 地域マインド育成プログラム一覧表

〈正課〉

No.	学科等	授業名	担当教員	受入れ先 (団体名)	内容	開講期	備考
1	高等教育センター	地域共生演習	安溪 遊地ほか		地域の魅力を発見・発信する体験型の授業です。週末を生かして10人ほどのグループで、実際に地域におもむいて、祭り・草刈りなどの農林作業・本物の家造り等を体験します。豊かな自然環境の中に古い歴史をもつ中小都市や集落が点在する山口県の地域としての特色を生かすユニークな授業です。	1～4年前期	
2		ボランティア	藤田 久美		個々の興味・関心や専門分野に関連するボランティア活動に参加することによって、それぞれの専門の学習の深化と発展を目指します。人との出会いやふれあいの実践やふりかえりの過程において、人間的な成長をはたし、地域に貢献する心を育みます。夏休みから11月までに、18時間相当のボランティア体験をします。	1～4年後期	
3		地域学	坂本 俊彦ほか		山口の特性を把握し、発展の可能性を考える授業です。講義とフィールドワーク(時間数は5コマ分)をとって、地域特性を踏まえ、地域を創っていく、地域を活性化していく能力を身につけます。	1～4年前期	
4		インターンシップ	人見 英里ほか	山口県インターンシップ推進協議会登録事業所	県内の事業所で就業体験を行います。旅行会社、官公庁、ホテル等さまざまな業界で実際の仕事を体験できます。	1～3年前期	
5		環境実践専門実習(副専攻「環境システム」)	今村 主税	未定(エコアクション21大学イニシアティブ参加事業者)	環境マネジメントシステムを構築する事業者の内部監査や環境活動レポート作成などについて助言をします。	3～4年後期	副専攻「環境システム」登録者
6	国際文化学科	フィールドワーク実践論	進藤 優子ほか	マロニエの森の会、デイサービス川村邸、あらたか商店街、あったか村など	地域から講師の方を招き、地域の文化・資源・課題について学びます。フィールドワークにでかける練習をします。	2～3年前期	
7		地域実習Ⅰ	安溪 遊地ほか		国際教養や国際的に行動する力について、実践力を養うための実習を行なう授業です。「フィールドワーク実践論」で学んだ知識や技術について、特定の実習現場を選択して実践します。	2～3年後期	「フィールドワーク実践論」の履修が条件となります。海外実習については、現地の政情や災害等の緊急事態、マッチング等の諸事情により、プログラムが実施できないことがあります。
8		地域実習Ⅱa	安野 早己ほか		実習先でのプログラムについて企画運営を行います。	2～4年後期	
9		地域実習Ⅱb	安野 早己ほか		産・学・公の講師の方とともに地域やグローバルな課題に関するテーマについて調査分析を行い、留学先での研究・活動計画を立てます。	2～4年後期	
10		卒業演習Ⅰ・Ⅱ			※地域に出て活動するものに限ります。	4年前・後期	
11	文化創造学科	地域文化実習Ⅰ	斉藤 理ほか		山口県内の諸文化施設(例・文書館、図書館等)における実習・見学をはじめとして、史跡調査への参加、文学碑探訪、各種団体へのインタビュー、方言調査、県内企業やメディア関連施設の見学、県内で行われる各種イベント・プロジェクトへの参画、海外における文化観光施設の視察(日本との比較)などが予定されています。	2～3年前期	
12		地域実習b	倉田 研治ほか		産・学・公の講師の方とともに地域やグローバルな課題に関するテーマについて調査分析を行い、留学先での研究・活動計画を立てます。	2～4年前期	
13		文化創造ワークショップ	斉藤 理ほか		地域から講師の方を招き、地域の文化・資源・課題について学びます。	2～4年前期	
14		卒業演習Ⅰ・Ⅱ			※地域に出て活動するものに限ります。	4年前・後期	
15	社会福祉学科	ソーシャルワーク演習Ⅰ	横山 正博ほか	老人クラブ「桜島下明朗会」他近隣地域7団体	8グループによりグループワークやコミュニケーションワークの視点から地域の当事者団体や福祉団体と共同企画を実践します。	2年前期	必修科目
16		福祉ボランティア論	藤田 久美		ほっとサロン西門前でとと、デイサービスやすらぎ、ワークステーション大歳、三和児童館、すぎのこ学級、ふれあい学級	福祉教育ならびにボランティア活動の理論と実際を理解し、福祉社会におけるボランティアの役割とボランティア育成について学びます。また、学校や地域における福祉教育実践やボランティア学習の展開について学びます。	2～3年前期

〈正課〉

No.	学科等	授業名	担当教員	受入れ先 (団体名)	内容	開講期	備考
17	社会福祉学科	ソーシャルワーク実習Ⅱ	草平 武志ほか	山口県内市町社会福祉協議会 (下関市、山口市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、周防大島町、平生町)	住民主体の社会参加活動を支援し、地域福祉を推進する団体であると社会福祉法に規定されている市町社会福祉協議会で社会福祉士養成のための実習を行います。	3年前期	
18		専門演習Ⅰ・Ⅱ			※地域に出て活動するものに限りです。	3年前・後期	
19		専門演習Ⅲ・Ⅳ			※地域に出て活動するものに限りです。	4年前・後期	
20	看護学科	専門研究Ⅰ・Ⅱ			※地域に出て活動するものに限りです。	4年前・後期	
21	栄養学科	専門研究Ⅰ・Ⅱ			※地域に出て活動するものに限りです。	4年前・後期	

〔正課外〕

No.	学科等	授業名	担当教職員 (問い合わせ先)	受入れ先 (団体名)	内容	開講期	備考
1	学生支援グループ	協働型インターンシップ	人見 英里 石井 鏡子ほか (083-928-4787)	未定※平成27年度は山口県、やまぐちフーランドなど県内事業所	企業と大学の協働で、大学生がより実践的に社会を学ぶためのインターンシップです。	1~4年	1)日程未定(長期休業期間中)／5日~数か月程度 2)場所未定 3)募集人数事業所によって1~5名程度 4)参加要件意欲をもって取り組むこと
2		1day学習会		未定※平成26年度は三笠産業、山口県など	様々な企業・官公庁の仕事について学びます。山口大学等の他大学との合同開催もあります。	1~4年	1)日程未定(夏季休業期間中)／1日 2)場所未定 3)募集人数30人程度
3		高大連携事業(文化祭への参加)	松田 和也 (083-928-5647)	野田学園高等学校	野田学園高等学校の文化祭(青桐祭)でサークルのステージ発表及び展示を行います。	1~4年	1)日程6月の土日／2日間(ステージ発表は1日のみ) 2)場所野田学園高等学校 3)募集人数サークル4団体程度 4)参加要件サークルでの参加
4	学生活動支援センター	YPUドリームアドベンチャープロジェクト2016	未定 (083-928-3478)	未定	大学生生活をさらに楽しく豊かにするために、学生(個人やグループ)が自主的に企画・運営する独創的で魅力的なプロジェクトに対して、大学が費用を補助することで、夢の実現を支援する事業です。	1~4年	募集条件採択決定後(6月末)~1月上旬頃に終了する企画内容であること
5		山口祇園祭裸坊祭り		宮野自治連合会	祇園祭というお祭りへの参加を通じて、山口の伝統文化の継承と地域観光の振興について地域住民とともに考えます。	1~4年	1)日程平成28年7月20日(毎年実施しています。) 2)場所宮野地域交流センターほか 3)募集人数20名程度
6		宮野地域大交流会		みやの地域づくり協議会	宮野地域住民の方と山口県立大学生の年に1度の大交流会です。毎年、イベント内容は地域の方々と話し合いを行い決定しています。	1~4年	1)日程平成28年11月中旬頃 2)場所宮野地域交流センター 3)募集人数40名程度
7		第36回ふしの学園祭		社会福祉法人ふしの学園宮野の里	学園の生徒と地域住民の交流サポート・祭りの運営補助を行います。主に出店コーナーの手伝い、利用者の支援を行います。	1~4年	1)日程未定(毎年11月頃) 2)場所社会福祉法人ふしの学園宮野の里
8		学力アップセミナー		山口市宮野中学校	参加する中学生の学習サポートを行います。	1~4年	1)日程未定(毎年8月頃) 2)場所宮野中学校視聴覚室 3)募集人数20名程度
9		子育て支援メッセinやまぐち		やまぐち子育て県民運動山口地域コーディネーターネットの樹	地域で活動する子育て支援団体が連携して開くお祭りの運営サポートをします。	1~4年	1)日程未定(毎年12月頃) 2)場所山口県健康づくりセンター(山口県総合保健会館内) 3)募集人数20名程度
10		フレンドシップキャンプ		特定非営利活動法人こども未来21	「フレンドシップキャンプ」は障がいを持っている子どもと、持っていない子どもがキャンプ生活を共にするものです。フレンドシップキャンプで子どもたちの見守り等をお手伝いします。	1~4年	1)日程未定(毎年8月頃)3日間 2)場所周南市内の宿泊施設等 3)募集人数10名程度
11		24時間テレビ「愛は地球を救う」募金活動		読売新聞山口中部東部支部山口ブロック	福祉・環境保護・災害復興支援に関わる募金活動の呼びかけを行います。	1~4年	1)日程未定(毎年8月末)1日 2)場所ゆめタウン山口 3)募集人数10名程度
12		宮野中学校土曜学習会		山口市宮野中学校	参加する中学生の学習サポートを行います。	1~4年	1)日程平成27年12月~平成28年2月の土曜日3ヵ月程度 2)場所宮野中学校視聴覚室 3)募集人数20名程度
13		全国金魚すくい選手権大会山口市予選会2016		一般財団法人山口観光コンベンション協会	全国金魚すくい選手権大会の山口市予選会の運営補助(審判、記録、誘導、準備、片付け等)を行います。	1~4年	1)日程未定(毎年7月頃) 2)場所山口市中心商店街Nac 3)募集人数10名
14		人づくり・地域づくりフォーラムin山口		公益財団法人山口県ひとつくり財団	新しい時代のありかたを学ぶ交流型フォーラムの運営補助を行います。	1~4年	1)日程未定(2月頃)3日間 2)場所山口県セミナーパーク 3)募集人数学生各日30~100名程度
15		青空天国いこいの広場まつり		特定非営利活動法人山口県腎友会	着ぐるみを着用し、子どもの歯科検診を促します。	1~4年	1)日程未定(毎年5月頃) 2)場所山口市維新公園競技場 3)募集人数学生3名
16		親ホテル採取		山口市立宮野小学校	学生と協力して親ホテルを採取します。	1~4年	1)日程未定(毎年6月頃) 2)場所涼橋周辺(山口ふれあい館下) 3)募集人数20名程度
17		なつやすみの宿題楽しく学ぼう会			小学生の夏休みの宿題をサポートしたり、アイスブレイクでコミュニケーションを図ります。	1~4年	1)日程未定(毎年8月頃) 2)場所山口県立大学 3)募集人数20名程度(小学生は30名程度参加予定)
18		防府市総合防災訓練		防府市役所総務部防災危機管理課	避難誘導や健康チェックのお手伝いを行います。	1~4年	1)日程未定(毎年10月頃) 2)場所未定(防府市) 3)募集人数30名程度

活動項目と内容

〔正課外〕

No.	学科等	授業名	担当教職員 (問い合わせ先)	受入れ先 (団体名)	内容	開講期	備考
19		中山間地域元気 創出応援事業	吉田 昇司 (083-928-3405)	未定	大学生等の新しい発想や知識、技能を生かした、中山間地域における課題や地域ニーズに対応する実践活動です。今まで、担当教員の指導の下に、県内中山間地域における、規格外の農産物等を活用した乾物商品の開発や、高齢者の健康支援活動、都市農村交流調査、地域の歴史文化継承活動等々の活動に取り組んできました。	1~4年	1)日程平成28年4月~平成29年3月 2)場所山口県内の中山間地域 3)募集人数未定(地元のニーズによる) 4)参加要件①山口県内の大学生等5名以上で構成されるグループで応募すること②山口県立大学の教員が指導者となること
20		桜の森アカデ ミー子育てマイ スターコース			120時間程度の体系的なカリキュラムののっとり、住民と学生が相互交流しながらフィールドワークやグループワーク等を取り入れたアクティブラーニングにより、子どもとの遊び方や接し方、心のケアなど子育てに関する知識と実践的スキルを身につけます。なお、本コースを修了すると「子育てマスター」の称号が取得できます。	1~4年	1)日程平成28年5月~平成29年3月 2)場所山口県政資料館、学内他 3)募集人数15名程度 4)参加要件①「子育て・親育ち」に興味をもち、地域住民と交流学習に積極的な関心のある学生②「子育てマスター」の取得を目指す学生
21	地域共生セン ター	桜の森アカデ ミー在宅ケアマ イスターコース	加登田 恵子 前田 哲男 (083-928-1175)	桜の森アカデ ミー	130時間程度の体系的なカリキュラムののっとり、住民と学生が相互交流しながら演習を多く含むアクティブラーニングにより、「在宅ケア」の知識と実践的スキルを身につけます。なお、本コースを修了すると、「在宅ケアマイスター」の称号とともに、厚生労働省の指定する「介護職員初任者研修」の修了証明書が交付されます。	1~4年	1)日程平成28年5月~平成29年3月 2)場所山口県政資料館、学内他 3)募集人数15名程度 4)参加要件①「在宅ケア」に興味をもち、地域住民と交流学習に積極的な関心のある学生②「在宅ケアマイスター」の取得を目指す学生
22		桜の森アカデ ミーやまぐち学 マイスターコース			120時間の体系的なカリキュラムののっとり、演習や現地講義、フィールドワーク等のアクティブラーニングにより、住民と学生が相互交流しながら、山口の歴史や文化についての知識や地域観光人材としての実践的スキルを身につけます。なお、本コースを修了すると「やまぐち学マイスター」の称号が取得できます。	1~4年	1)日程平成28年5月~平成29年3月 2)場所山口県政資料館、学内他 3)募集人数15名程度 4)参加要件①「やまぐち学」に興味をもち、地域住民と交流学習に積極的に関わる学生②「やまぐち学マイスター」の取得を目指す学生
23		Yuccaサロン	未定 (083-934-8011)	山口市市民活動 支援センター さぼらんで地域 交流スペース Yucca	学生と市民活動団体の交流の場です。参加者同士の関係づくりや情報交換を行い、共に地域活動ができる場を見つけます。	1~4年	1)日程未定(年間3回程度) 2)場所地域交流スペースYucca 3)募集人数10名前後
24		BabyCafé		地域交流スペース Yucca	乳幼児とその保護者を対象に、親子で楽しめる企画の提供や、参加者主催の活動時の託児のお手伝いをします。	1~4年	1)日程未定(随時) 2)場所地域交流スペースYucca 3)募集人数5~10名程度
25		子育てピアカ ウンセリング Yucca保育ボラ ンティア	大石 由起子 (083-928-4769)	地域交流スペース Yucca	「子育てピアカウンセリング」とは乳幼児を子育て中の母親を対象とした語り合いの場です。同じスペース内に、子どもの遊びの空間を設け、学生ボランティアが保育をします。	1~4年	1)日程年5回5月、7月、9月、11月、1月(原則第4金曜日) 2)場所地域交流スペースYucca 3)募集人数10人前後(乳幼児の参加人数に対応する) 4)参加要件3歳未満児の保育に関わる意欲のある者
26		ママかんフリー カフェ運営ボラ ンティア		障害児教育研究 室・ママかん	発達に気になる子どもを育てる母親サロンのカフェ運営や託児ボランティアを行います。参加者は主に発達障がい児を育てる母親とその子ども(きょうだい児含む)が参加します。	1~4年	1)日程毎週木曜日、その他活動日 2)場所大学内ほか 3)ボランティアに関心のある学生
27	社会福祉学 科	学生による学生 のためのボラ ンティア活動支援	藤田 久美 (083-928-4765)	学生ぶちボラ ンティアセン ター	学生による学生のためのボランティア活動支援としてボランティア掲示板等の環境整備や学生が企画したボランティア活動への参加(環境ボランティア、見守りボランティア、福祉施設ボランティア体験ツアー等)をします。	1~4年	1)日程未定年9回 2)場所地域交流スペースYucca 3)募集人数10人 4)発達障害児支援に関心のある学生
28		ぶち☆スタ実行 委員会		学生ぶちボラ ンティアセン ター	不登校や発達障害の児童生徒を対象とした学習支援と余暇支援を行うボランティアを行います。社会福祉学部生ぶちボランティアセンターが運営し、学生からボランティアを募り、ぶち☆スタ実行委員会として実施しています。	1~4年	1)日程未定年30回 2)場所D12教室ほか 3)募集人数10人 4)発達障害児や不登校児童生徒の支援に関心のある学生
29		はーとボラ ンティア講座(高 大連携事業)			高校生のためのボランティア講座の運営及び高校生へのボランティア活動紹介等を行います。	1~4年	1)日程未定年2回 2)場所大学内 3)募集人数10人 4)ボランティア活動を行っている学生
30		赤い羽根共同募 金啓発活動	内田 充範 (083-928-4789)	M E P 連 携 団 体：山口県共同 募金会	赤い羽根共同募金啓発活動として、毎年10月1日のオープニングセレモニーに参加をします。事業所等とのコラボレーションとして、赤い羽根共同募金寄附商品のデザイン、小学生への啓発チラシの作成(2014年度)などを行っています。	1~4年	1)日程随時 2)場所不定 3)募集人数10人程度 4)赤い羽根共同募金に関心のある学生

〈正課外〉

No.	学科等	授業名	担当教職員 (問い合わせ先)	受入れ先 (団体名)	内容	開講期	備考
31	社会福祉学科	世界エイズデー 2016in山口	上白木 悦子 (083-928-4767)	世界エイズデーin山口実行委員会（主として社会福祉学部医療福祉研究室およびサークルゆーとびあ）	エイズ対策推進を目的とし、山口県山口健康福祉センターからの委託を受け、一般県民等を対象とした知識の普及活動等を行う。具体的には下記の活動を行います。1.エイズカフェを開催し、HIV感染と予防を一緒に考える。2.HIV抗体検査予約会と性感染症トピックスの紹介を行う。3.パネル展示を行う。	1～4年	1)日程平成28年11月5日、6日（山口県立大学華月祭） 2)場所大学 3)募集人数20人程度 4)活動に関心のある学生
32		コミュニティー ソーシャルワーカー養成事業	横山 正博 数本 知二 長谷川 真司 (083-928-4780)	岩手県立大学を通じて岩手県内社会福祉関係事業所	大学間交流を通じた学生のコミュニティーソーシャルワーカー教育です。	1～4年	1)日程未定 2)場所岩手県内及び本学
33	看護学科	1型糖尿病と共に生きる方々および家族との交流・勉強会	張替 直美 (083-933-1463)	山口県小児糖尿病研究会	1型糖尿病の啓蒙活動を兼ねた交流会やキャンプの企画・運営に参加しながら楽しく学ぶことができます。また、糖尿病に関わる県内外のいろいろな職種の方々とも交流できます。	1～4年	1)日程3月調理実習他交流会、5月講演会、10月2泊3日のキャンプ 2)場所キャンプは、周南市大田原自然の家、その他は主に小郡・山口エリア 3)参加要件単発でも参加できるが、サークル(3Peace)に加入すると更に密に活動できる。
34		仁保中学校学習 支援ボランティア	丹 佳子 (083-933-1471)	山口市仁保中学校	仁保中学校の教室や図書館で、中学校教員と協力し、自習を基本とする定期テスト前学習をサポートします。	1～4年	1)日程未定(每学期1～2回) 2)場所山口市仁保中学校 3)募集人数未定 4)参加要件教職をめざす学生（主に看護学科生）
35	栄養学科	コープやまぐち キッズ・もぐもぐ チャレンジ 「わくわく！ゴ ハンジャーと○ ○づくり☆」 (飯)	加藤 元士 繁田 真弓 園田 純子 乃木 章子 山崎 あかね 森山 結香 (083-928-2402)	食育プログラム 開発チーム、食育 戦隊ゴハン ジャー	買い物や調理体験を通じ、子どもたちが食への興味・関心を持つきっかけを作る食育プログラムを実施します。	1～4年	1)日程8月頃(実施期間1日) 2)場所コープやまぐち店舗 3)募集人数約15名 4)参加要件栄養学科学生で食育プログラム開発チーム食育戦隊ゴハンジャーのメンバーであること
36		地域の子どもを 対象とした食育 プログラム (飯)	加藤 元士 繁田 真弓 園田 純子 乃木 章子 山崎 あかね 森山 結香 (083-928-2402)		楽しみながら食について学ぶオリジナルの食育プログラムを、地域の子どもおよび保護者を対象に実施します。コープやまぐちと共催で実施します。	1～4年	1)日程未定 2)場所山口県立大学 3)募集人数約40名 4)参加要件栄養学科学生で食育プログラム開発チーム食育戦隊ゴハンジャーのメンバーであること
37		こども元気塾	水津 久美子 (083-928-2565)	山口市教育委員会	料理教室の準備・補助をします。山口市内の小学生と保護者の方々をはじめ、栄養教諭や教職員の方々と交流ができます。	1～4年	1)日程7月下旬の日曜日 2)場所山口市内の小学校 3)募集人数4～5人

平成28年度 国際コミュニケーション力の育成プログラム一覧表

〈正課〉

No.	学科等	授業名	担当教員	受入れ先 (団体名)	内容	開講期	備考
1	高等教育センター	国際交流 I	シャルコフ・ロバートほか		文化や言語、生活習慣、社会規範等の異なる人々との国内での交流体験を通して、異文化交流にかかわる基礎的知識と実践力を身につけるとともに、自らの考え方を問い直し、再構成しながらグローバルな視点を自己の成長に生かす態度を涵養します。	1～4年前・後期	2014年度以前入学生は単位取得時「国際交流」
2		国際交流 II			海外体験を通して、異文化交流にかかわる基礎的知識と実践力を身につけるとともに、自らの考え方を問い直し、再構成しながらグローバルな視点を自己の成長に生かす態度を涵養します。	1～4年後期	2014年度以前入学生は単位取得時「国際交流」
3		短期語学・文化研修	林 炫情ほか		韓国、中国、カナダに夏季休業中に3週間派遣し、語学並びに文化を学びます。また、春季休業中にも、オーストラリア等の語学・文化研修があります。	1～4年後期	2014年度以前入学生は単位取得時「国際交流」
4		History and Arts of Yamaguchi			中世から昭和初期にかけての山口の歴史と伝統芸能や文学を取りあげ、座学と山口市周辺や萩の城下町などへのLOL(learn on location)を通して、地元(出身地域・海外を含め)と山口の類似点や相違点について考察し、自ら生活する地域の理解を深めようとする態度を涵養します。なお、このクラスは英語で開講します。	1～4年後期	2014年度以前入学生は単位取得時「やまぐちの歴史と文化」平成28年度は開講しません。
5	国際文化学部共通	海外語学研修 I	シャルコフ・ロバートほか		交換留学計画を行います。学生は、本学と学術交流協定を締結した大学において、交換留学を体験します。現地において言葉を学び、生活を体験することを通じて、実践的な語学能力を身につけ、文化や社会についての理解を深めます。	2～4年後期	
6		海外語学研修 II			交換留学計画を行います。学生は、本学と学術交流協定を締結した大学において、交換留学を体験します。現地において言葉を学び、生活を体験することを通じて、実践的な語学能力を身につけ、文化や社会についての理解を深めます。	2～4年後期	海外語学研修Iを履修すること。
7	国際文化学科	地域実習 I	安溪 遊地ほか		国際教養や国際的に行動する力について、実践力を養うための実習を行なう授業です。「フィールドワーク実践論」で学んだ知識や技術について、特定の実習現場を選択して実践します。※海外フィールドワークに出かけるもののみ	2～3年後期	「フィールドワーク実践論」の履修が条件となります。海外実習については、現地の政情や災害等の緊急事態、マッチング等の諸事情により、プログラムが実施できないことがあります。
8		地域実習 II a	安野 早己ほか		実習先でのプログラムについて企画運営を行います。※海外フィールドワーク、海外インターンシップに出かけるもののみ	2～4年後期	
9	文化創造学科	地域文化実習 I	斉藤 理ほか		山口県内の諸文化施設(例・文書館、図書館等)における実習・見学をはじめとして、史跡調査への参加、文学碑探訪、各種団体へのインタビュー、方言調査、県内企業やメディア関連施設の見学、県内で行われる各種イベント・プロジェクトへの参画、海外における文化観光施設の視察(日本との比較)などが予定されています。※海外フィールドワークに出かけるもののみ	2～3年前期	

〈正課外〉

No.	学科等	授業名	担当教職員	受入れ先 (団体名)	内容	開講期	備考
1	学生活動支援センター	ひなまつり国際交流	岩田 夏美 (083-928-3476)	周南国際交流児童クラブ	岩国基地在住のファミリーと、日本の家族との交流サポート及び運営の補助をします。	1~4年	1)日程未定(毎年3月3日頃) 2)場所未定(周南市ふれあいセンターなど) 3)募集人数20名以上
2	高等教育センター	学生チューター	梶 建次 (083-928-3413)	高等教育センター協力：学生活動支援センター	交換留学生及び、来日して間もない長期留学生(学部・大学院)に対して、学生スタッフとして生活支援と日本語支援を行い、本学学生と留学生との交流を図ります。	1~4年	※毎年秋ごろ募集される掲示内容を参照し、提出締切までに高等教育センターに応募してください。 〈応募要件〉 1)応募条件となる授業の単位を取得済み、または、履修しようとする者。※派遣前までに「日本語教育実習」単位取得が条件 2)GPAが2.3以上の者 3)心身ともに健康であるとともに、長期の滞在に耐えられる者※センター大学は上記の他TOEIC650点以上の者
3		Y&I		高等教育センター協力：学生支援グループ	本学学生(留学生を含む)と留学生との交流イベントの企画・運営を行います。	1~4年	
4		教員交流事業		高等教育センター	学術交流協定大学から定期的に招聘する教職員による公開レクチャーや講演会を開催し、学生や市民に広く周知を行い、学内や地域の国際化を図ります。	1~4年	
5		日本語TA(ティーチングアシスタント)		①センター大学(アメリカ)②ビショップス大学(カナダ)③曲阜師範大学(中国)	本学の学術交流協定大学で、日本語履修者に日本語を教える授業で、1年間程度ティーチングアシスタントを経験することができます。交換留学制度と異なり単位にはなりませんので、休学していくことになります。日本語教師を目指している学生には、貴重な実地体験を得る良い機会になります。語学教育のティーチングアシスタントですから、原則として日本語教育に関する科目を履修しており、実習を行なっていることが条件となります。	3~4年	
6		協定大学受入スタディーツアー団との交流会		高等教育センター	協定大学から本学が受け入れた学生訪問団の歓迎会等に学生の参加者を募集し、学内での異文化交流を促進します。	1~4年	
7		地域交流事業		山口県内の小中学校や各種団体	地域に本学の留学生と一緒に派遣し、地域住民との交流をとおして、地域の国際化に寄与する活動を実施します。	1~4年	
8	国際文化学科	ESS	ウィルソン・エイミー (083-928-4757)	English Speaking Societyと国際コーヒー交流クラブ	英語でゲームをしたり、英会話で文化交流を行います。	1~4年	
9		韓国社会論；専門演習(韓国社会論研究室)	金 惠媛 (083-928-3440)	やまぐち韓国研究会	異文化(韓国-日本;地域住民-学生)交流学習会を毎月1回(原則、第2日曜日)に開催しています。	1~4年	
10		日本語TA(ティーチングアシスタント)	古別府 ひづる (083-928-4786)		学術交流協定大学以外の高専等で、日本語履修者に日本語を教える授業で、ティーチングアシスタントを経験することができます。日本語教師を目指している学生には、貴重な実地体験を得る良い機会になります。	3~4年	
11	栄養学科	山口ーナバラコラポ広場	繁田 真弓 加藤 元士 弘津 公子 溝手 朝子 守永 郁子 (083-928-2469)		スペインからの留学生、スペインに興味のある日本人学生が食や歴史文化を楽しく学ぶ広場です。	1~4年	季節ごとに両地域の食材を使った料理を囲んで、食文化や歴史を語る会を開催します。

発 行 公立大学法人 山口県立大学
高等教育センター

発行日 2016年4月